

大雪による輸送障害が発生！

安全を「最優先」に考え行動しよう！

年末年始にかけて津軽地区では記録的な大雪となり、大規模な輸送障害が発生しました。昼夜を問わずの除雪や線路設備の復旧作業など、早期の運転再開に向けて奮闘する方々に敬意を表します。体調に留意すると共に、今こそ安全を最優先に考えて行動しましょう。秋田地本としても組合員の皆さんの支援を行っていきます！

現場で働く皆さん！

不安や疑念を感じたら積極的な情報発信しましょう！

このまま発車すれば止まってしまうのでは！？

この作業、本当に安全なのかな？

この雪の量では脱線するかもしれない！

「2024年度冬期対策に関する申入れ」団体交渉では次のような議論をしています！

◆輸送障害時に長時間列車に閉じ込められた際の交代乗務員の手配について具体的な考えを明らかにすること。

【会社】乗務員からの情報が1番大切だと思っている。乗務員が現場において1番状況を把握している。状況をしっかり伝えていただくことが基本。

【組合】輸送障害時はどのような代替乗務員の手配をするのか、当直任せではなく職場全体での対応策の検討が必要なのではないか。

【会社】情報共有は大切である。把握の仕方は各当直の中で工夫されていることもある。

【組合】長時間閉じ込められている場合、当直から本人の健康状態なども把握することが重要ではないか。

【会社】長時間停車にならないよう策を講じていくことを意識している。乗務員の健康状態も申告や情報がないと判断できない。積極的に発信してもらうことが重要。

職場での事象を把握し、今後の検証に生かしましょう！

職場の安全風土を東労組から創りだそう！